

長町中学校区防災教育モデル校 9年間を見通した防災教育

発達段階	知 識	技 能	態 度
小学生 低学年 「聞く・知る」	・どんな自然災害があるかを知る。 ・自分の命の守り方を知る。	・災害が発生したときには、自分の命を守るために必要な行動を取る。	・大人の人の話をしっかりと聞き、自分勝手な行動をしない。 ・家族や友達と助け合う必要があることを知る。
小学生 中学年 「知る・考える」	・自然災害の種類について知る。 ・自分たちが住んでいる地域について知る。（危険な場所・安全な場所）	・災害が発生したときには、見て・聞いて周りの状況を判断し、命を守るために適切な行動を取る。	・災害が発生したときには、進んで家族の手伝いをしたり、友達と助け合ったりする。 ・命を大切にし、家族や友達のことを思いやる気持ちを持つ。
小学生 高学年 「考える・行動する」	・過去の自然災害について知る。 ・自然災害の種類や発生のメカニズムについて知る。 ・防災や災害対応の関係機関や取組について知る。 ・初歩的な応急処置の仕方について知る。	・災害発生時には、危険を予測し、自分の命を守るために必要な行動を主体的に取る。 ・下学年の児童と一緒に避難する。 ・初歩的な応急処置ができる。	・リーダーとして下学年児童のお世話をする。 ・災害が発生したときには、家族や友達、地域の方と助け合うと共にボランティア活動に参加する。 ・命を大切にし、家族や友達のことを思いやり、主体的に行動する。
中学生 「学びを生かす・連携する」	・自然災害のメカニズムについての学びを深め、現象と被害の大きさの関連について知る。（自助） ・さまざまな防災の取組みについて知る。（共助）	・災害発生時、発生後のサバイバル能力を高める。（自助） ・何が必要かを考え、協働して防災活動に取り組むことができる。（共助）	・自分が助かることがなぜ必要なかを考える。（自助） ・自己有用感を高め、主体的に地域の役に立つ活動に参加しようとする。（共助）

